

# CentreCOM® 9606SX/SC リリースノート

この度は、CentreCOM 9606SX/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。  
このリリースノートは、付属のユーザーマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご  
理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。  
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ソフトウェアバージョン 2.2.2 pl18(2.2.2-18)

## 2 未サポート機能

以下の項目は付属のユーザーマニュアル、または最新のコマンドリファレンスに記述がありますが、本製品ではサポート対象外となっていますので、あらかじめご了承ください。

- ☐ QoS
- ☐ BOOTP サーバー

## 3 本バージョンでサポートされた機能

ソフトウェアバージョン2.2.2 pl10から2.2.2 pl18へのバージョンアップにおいて、以下の項目がサポートされました。

- ☐ IP ヘルパー(UDP ブロードキャストヘルパー)
- ☐ NTP
- ☐ プロキシ ARP
- ☐ ポリシーフィルター
- ☐ ディレクティッドブロードキャスト
- ☐ ポートのリンクアップ / ダウン トリガー
- ☐ TRACE コマンド
- ☐ FINGER コマンド

## 4 本バージョンで追加された機能

ソフトウェアバージョン 2.2.2 pl10 から 2.2.2 pl18 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加(改善)されました。

### 4.1 ポートランキングのルーティングされたパケットに対する負荷分散

「7.2 ポートランキングについて」を参照してください。

### 4.2 ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH/ENTRY コマンド TYPE パラメーターの追加

最新のコマンドリファレンスを参照してください。

### 4.3 ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH コマンド SCLASS/DCLASS パラメーターの変更

**SCLASS={A|B|C|HOST|1..32}**

**DCLASS={A|B|C|HOST|1..32}**

SCLASS/DCLASS パラメーターにマスク長(1 ~ 32)を指定できるようになりました。

### 4.4 L3 テーブルのエージング機能追加

**SET SWITCH L3AGEINGTIMER=30..43200**

L3 テーブルにエージング機能が追加され、エージングタイムの設定が行えるようになりました。デフォルトは 900 (秒)です。

### 4.5 ファイアウォール(AT-FL-02)セッションテーブル管理方法の変更

PUBLIC または PRIVATE インターフェースで TCP セッションがクローズされたとき、最大 300 秒(TCPTimeout に設定されている時間が 300 秒以上の場合)まで、該当の TCP セッションをファイアウォールセッションテーブルに保持していましたが、TCP/FIN パケットを受け取った場合は約 6 秒後(固定値)に TCP セッションを削除するように変更しました。

### 4.6 ハードウェア IP フィルターの IGMP パケット対応

ハードウェア IP フィルターが IGMP パケットに対しても適用されるようになりました。

### 4.7 ファン・リダンダント電源装置復旧時のトラップ送信

ファンやリダンダント電源装置の復旧時にトラップが送信されるようになりました。

## 5 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.2.2 pl10 から 2.2.2 pl18 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 5.1 UDP Length に「0」がセットされたパケットを受信した場合、CPU がハングアップすることがありましたが、これを修正しました。
- 5.2 ポートミラーリングとスパニングツリーを同一ポートに設定することが可能になりました。
- 5.3 VLAN 間の IP ルーティングを無効にする方法として、DISABLE IP FORWARDING コマンドの使用が可能になりました。
- 5.4 任意の VLAN インターフェースに対して、その VLAN 配下に接続された端末から Ping を実行した場合、他の VLAN で高負荷が発生すると、Ping が失敗することがありましたが、これを修正しました。
- 5.5 VLAN インターフェースに IP アドレスを設定した場合、各 VLAN の IP アドレス差が大きいと、VLAN 間ルーティングのパフォーマンスが低下していましたが、これを修正しました。
- 5.6 VLAN インターフェースに設定した IP アドレスと、同じアドレスを送信元 IP アドレスとするパケットを受信した後、SHOW IP FLOW コマンドを実行すると、本体がリポートしていましたが、これを修正しました。
- 5.7 ファイルシステムにおいて、ファイルの上書きを行った場合、既存のファイルが削除される、または新規ファイルの作成を行った場合、書き込み領域が足りずに新規ファイルと既存ファイルの両方が消去されることがありましたが、これを修正しました。
- 5.8 ファイルシステムにおいて、フラッシュメモリーへの書き込みを行う際にメモリーブロックの境界上で書き込みアドレスが終了した場合、不正な書き込みや読み込みが発生することによって、ファイルが消失することがありましたが、これを修正しました。
- 5.9 ファイルシステムにおいて、コンパクション中にエラーメッセージが表示され、ファイルが消失することがありましたが、これを修正しました。
- 5.10 ファイルシステムにおいて、書き込みエラーが起こった場合に、ディレクトリー構造とフラッシュのミスマッチが発生することにより、SHOW FILE コマンドでは表示されないファイルが、SHOW FFILE コマンドで表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 5.11 同一ポートにタグ VLAN (タグ付きポート) とポートトラッキングを設定した場合、該当ポートでフラッディングされたパケットを受信すると、異なるトランクグループにもフラッディングすることがありましたが、これを修正しました。
- 5.12 トランクグループが所属する双方の VLAN に異なる VID を設定した場合、タグ無しポートからタグ付きパケットが送信されることがありましたが、これを修正しました。

- 5.13 DHCP サーバー機能において、クライアントがWindows<sup>®</sup>XP の場合、サブネットマスクやゲートウェイアドレスなどのIPアドレス以外のパラメーターを正しく提供できませんでしたが、これを修正しました。
- 5.14 DHCP サーバー機能において、クライアントから options field に「4」がセットされ、かつ、シーケンスが異なるパケットを受信した場合、本体がリブートしていましたが、これを修正しました。
- 5.15 DHCP サーバー機能において、IPアドレスの静的割り当てと動的割り当てを同時に使用した場合、本体がリブートしていましたが、これを修正しました。
- 5.16 DHCP クライアント機能において、リース延長要求を送信しない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 5.17 DHCP リレー機能使用時に、クライアントが取得したIPアドレスを解放後、再度取得すると、本体がリブートしていましたが、これを修正しました。
- 5.18 マルチホーミングにおいて、ディレクティッドブロードキャストパケットが送信されない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 5.19 リンクトラップが有効に設定されているポートにネットワーク管理ステーション(NMS)が接続されている場合、該当ポートでリンクダウンが発生するとCPUがハングアップすることがありますが、これを修正しました。
- 5.20 SNMP パケットによるアタックなど、脆弱性に対して強化しました。
- 5.21 ソフトウェアIPフィルターにおいて、特定のホストからのICMPエコーリクエストを拒否（その他のプロトコルは許可）するという設定を行った場合、他のVLAN配下に接続された端末から、この特定のホストに対してPingを実行すると、フィルターの設定が無効になることがありますが、これを修正しました。
- 5.22 ハードウェアIPフィルターにおいて、IMPORT/EXPORT パラメーターを指定したマッチ条件を複数作成した場合、一番最初に作成したマッチ条件でしかフィルターが有効になりませんでしたでしたが、これを修正しました。
- 5.23 ハードウェアIPフィルターにおいて、ADD (SET) SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドで、TCPACK パラメーターにFALSEを指定した場合、パラメーター値を設定ファイルに保存できませんでしたが、これを修正しました。
- 5.24 IGMP スヌーピングにおいて、Query メッセージパケットをタグ無しポートから送信した場合、タグが付与されていましたが、これを修正しました。
- 5.25 IGMP スヌーピングにおいて、Windows<sup>®</sup>98 から送信される Query/Report メッセージを正しく認識できませんでしたが、これを修正しました。

- 5.26 OSPFのイコールコストマルチパス環境において、本製品のL3テーブルが正しく更新されませんでしたが、これを修正しました。
- 5.27 OSPFで仮想リンク (Virtual Link) を設定した場合、仮想リンクを経由して受信したLSDB (リンクステートデータベース) は正常であるにも関わらず、正しいネクストホップがセットされませんでしたが、これを修正しました。
- 5.28 ダイナミックルーティングテーブルの更新処理に時間がかかり、他の処理ができなくなることを避けるため、テーブルの更新時間を高速化しました。
- 5.29 ファイアウォール (AT-FL-02) において、アクセスリストに複数のネットワークアドレスを記述した場合、2行目以降の記述内容が有効になりませんでしたが、これを修正しました。
- 5.30 ファイアウォール (AT-FL-02) のダイナミックENATにおいて、プライベート側VLANインターフェースから送信するマルチキャストパケットをアドレス変換していましたが、これを修正しました。
- 5.31 IGMP (AT-FL-03) において、本体の起動 (再起動) 後 125 秒間、Query メッセージが送信されませんでしたが、これを修正しました。
- 5.32 IGMP (AT-FL-03) において、IGMP パケットをタグ付きポートから送信した場合、タグが付与されませんでしたが、これを修正しました。

## 6 本バージョンでの制限事項

---

### 6.1 SNMP MIB オブジェクトについて

 「ユーザーマニュアル」 5-11 ～ 5-13 ページ

SNMP の MIB オブジェクトについて、以下のような制限があります。

- ☐ MIB II オブジェクト [ipNetToMediaPhysAddress] に正しい値がセットされていません。
- ☐ ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dStpPriority] に正しい値がセットされていません。
- ☐ ブリッジ MIB オブジェクト [dot1dBaseType] に正しい値がセットされていません。
- ☐ ブリッジ MIB オブジェクト [dot3StatsFrameTooLongs] が正しくカウントアップされません。
- ☐ インターフェース拡張グループ MIB オブジェクト [ifHCInOctets] などの 64bit カウンター (Counter64) が正しく動作しません。

### 6.2 ソフトウェア IP フィルターの表示について

- ☐ SHOW IP FILTER コマンドの表示項目 Matches のカウントが正しくありません。
- ☐ ADD (SET) IP FILTER コマンドで SIZE パラメーターを指定した場合、フィルターが正しく動作しません。
- ☐ ADD (SET) IP FILTER コマンドで OPTIONS パラメーターを指定した場合、フィルターが正しく動作しません。

### 6.3 ハードウェア IP フィルターについて

 「ユーザーマニュアル」 4-37 ～ 4-40 ページ

EMPORT/EPORT パラメーターで、フィルタリングを行うイーグレス (出力) ポートを特定した場合、該当ポート以外のポートにおいて、ARP のアドレス解決が行われていない端末に対する通信ができなくなる場合があります。

### 6.4 不明な MAC アドレス登録について

 「ユーザーマニュアル」 3-41 ～ 3-42 ページ

パケットの種類に関係なく、パケットの受信中に本体を起動すると、FDB に不明な MAC アドレスが登録される場合があります。

### 6.5 エージングについて

 「ユーザーマニュアル」 3-43 ページ

1 回目のエージアウトですべてのダイナミックエントリーが FDB から削除されない場合があります。ただし、2 回目以降のエージアウトではすべてのダイナミックエントリーが削除されます。

---

## 6.6 DHCP レンジの表示について

 「ユーザーマニュアル」 5-5 ページ

クライアントに割り当てていた IP アドレスを解放した場合、SHOW DHCP RANGE コマンドの表示項目 Free Address (未使用の IP アドレス一覧) に、該当の IP アドレスが重複して表示される場合があります。

---

## 6.7 ポートの統計情報「ifOutErrors」の表示について

マルチキャストパケットを受信すると、SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンドで表示される ifOutErrors が受信ポートでカウントされる場合があります。

---

## 6.8 ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH/ENTRY コマンド TYPE パラメーターについて

ADD(SET) SWITCH L3FILTER MATCH コマンドで TYPE=SNAP を指定した場合に限り、ADD(SET) SWITCH L3FILTER ENTRY コマンドの TYPE パラメーターで、間に 0 (ゼロ) が 2 つ以上続いて、かつ、連続した 0 が 0 以外の数字で挟まれたプロトコル番号 (例: AppleTalk の SNAP パケット「080007809B」) を指定した場合、このフィルターが正しく動作しません。

---

## 6.9 NVS 保存のログについて

NVS 上にログが保存されません。

---

## 6.10 IP インターフェースの表示について

SHOW IP INTERFACE コマンドの表示項目 PArp (プロキシ ARP の有効・無効) が、常に「-」で表示されます。

---

## 6.11 Telnet のログインについて

改行コードに「LF+CR」ではなく「LF」だけしかセットしない Telnet クライアントからは、本製品に対してログインできません。

---

## 6.12 ディレクティッドブロードキャストアドレス宛のパケットについて

異なるネットワークからディレクティッドブロードキャストパケットを受信した場合、本製品が返す Reply パケットの送信元 IP アドレスに、受信インターフェースの IP アドレスがセットされず、送信元にもっとも近いインターフェース (パケットを実際に送り出すインターフェース) の IP アドレスがセットされます。

---

## 6.13 DNS リレーについて

DNS リレー機能使用時、サーバーの応答パケットの送信元 IP アドレス (スイッチ自体のアドレス) を変換せず、そのままクライアントに送り返すため、一部のクライアントでドメイン名の解決ができないことがあります。

---

#### 6.14 DHCPサーバーについて

 「ユーザーマニュアル」 5-2 ～ 5-5 ページ

VLAN ごとに DHCP レンジを設定した場合、異なる VLAN に端末を移動すると、該当の端末が IP アドレスを取得できません。端末の移動前には必ず IP アドレスを解放してください。

---

#### 6.15 RIP のトリガーアップデート設定について

 「ユーザーマニュアル」 4-6 ページ

ADD (SET) IP RIP コマンドの DEMAND=NO (トリガーアップデートの無効) の設定が有効になりません。

---

#### 6.16 ファイアウォール(AT-FL-02)のアクセスリストについて

- ☐ ADD (SET) FIREWALL POLICY LIST コマンドの TYPE パラメーターに MAC アドレスを指定した場合、アクセスリストに記載した MAC アドレスに対するルールが正しく動作しません。
- ☐ ファイアウォールルールにアクセスリストを指定した場合、該当のルール以降のルールが無効になります。

---

#### 6.17 IGMP(AT-FL-03)タイマーについて

IGMP タイマーの Other Query Present Interval の値を変更することができません。



## 7 ユーザーマニュアルの補足・誤記訂正

### 7.1 FAULT LED について

 「ユーザーマニュアル」 1-9, 6-5, 6-18 ページ

本体前面FAULT LED(赤)の点滅の表示内容に誤りがありましたので、以下のとおり訂正してお詫びいたします。

| LED   | 色 | 状態 | 表示内容                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------|---|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| FAULT | 赤 | 点灯 | 本体、または内蔵ソフトウェアが故障しています。                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|       |   | 点滅 | 1回点滅： ファンに障害があります。<br>3回点滅： リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていて、本体の電源ユニットに異常があります。<br>4回点滅： SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」の電源ユニットに異常があります。<br>5回点滅： SET SYSTEM RPSMONITORコマンドでONが指定されていて、リダンダント電源装置「CentreCOM RPS8000」のDC電源ケーブルが接続されていません。 |
|       |   | 消灯 | システムに異常はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                            |

### 7.2 ポートランキングについて

 「ユーザーマニュアル」 3-7 ～ 3-10 ページ

- ☐ バージョン 2.2.2 pl18 で、トランクグループに追加されたポートの通信モードが、Full Duplex固定からSPEEDパラメーターで指定した速度のオートネゴネーションとなりました。バージョン 2.2.2 pl18 以降を搭載した機器とバージョン 2.2.2 pl10 を搭載した機器間ではポートランキングの接続はできませんのでご注意ください。
- ☐ バージョン 2.2.2 pl18 で、ポートランキングとVLAN間ルーティングを併用した場合に、ルーティングされたパケットに対して負荷分散が行われるようになりました。ただし、送信ポート決定の基準になるのは「IPDEST(終点IPアドレス)」のみで、その他のパラメーターを指定した場合も、IPDEST を指定したときと同じ動作になります。
- ☐ フラッドイングされたパケットの送信ポートには、トランクグループ内でリンクが一番最初に確立したポートが使用されます。
- ☐ ポートランキングとスパニングツリーを同一ポートに設定することはできません。

---

### 7.3 フローコントロール(IEEE802.3x PAUSE)について

「ユーザーマニュアル」 3-6 ページ

「ユーザーマニュアル」3-6ページにフローコントロールについての説明がありますが、本製品のフローコントロール(IEEE802.3x PAUSE)は、PAUSEフレームの受信のみをサポートしています。「バッファメモリーを監視し、空きが減少してくるとPAUSEフレームを送出する」という動作は行いませんので、訂正してお詫びいたします。

PAUSEフレームを受信した場合は、PAUSEフレームの送信元である接続機器に対して送信を一時的に停止し、フロー制御を行います。

なお、本製品は Half Duplex での通信はサポートしていません。

---

### 7.4 ハードウェア IP フィルターについて

「ユーザーマニュアル」 4-36 ページ

「ユーザーマニュアル」4-36ページに、注意事項として「ハードウェアIPフィルターは、本体宛の packets、および送信元MACアドレス未学習のユニキャストパケットに対しては適用されません。」とありますが、本製品にこのような制限はありませんので、訂正してお詫びいたします。

## 8 コマンドリファレンスについて

---

最新のコマンドリファレンス「CentreCOM 9600/8600シリーズ コマンドリファレンス 2.2(J613-M0522-00 Rev.B)」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、付属のユーザーマニュアルと上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちのコマンドリファレンスが上記のものでない場合は、ホームページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー「J613-M0522-00 Rev.B」は、コマンドリファレンスの全ページ(左下)に入っています。

コマンドリファレンス 2.2(J613-M0522-00 Rev.B)へのリンクはこちら：

<http://www.allied-tesesis.co.jp/support/9606/manual.html>

